



境内のもじ

三瀧寺

- 三瀧山の中腹にある真言宗高野山派の寺。
- 平安時代初期(809年)真言宗の開祖空海(弘法大師)が唐からの帰路、この三瀧の地を聖地と定め、観音様を表す梵字(ぼんじ)を自然石に刻み、岩窟(がんくつ)に安置したことに始ると伝えられている。
- 境内に水流の異なる3つの滝があることから、三瀧寺と呼ばれる。
- 「中国三十三観音13番」の札所。
- 「広島新四国八十八ヶ所霊場15番」の札所。



原爆無縁仏

三瀧墓園

- 戦災復興事業で広島市が開発した墓園。
- 昭和26(1951)年都市計画墓園として開園。広島市中心部にあった寺院の墓が移設された。
- 昭和30年代、誓願寺(材木町・現中島町)海雲寺(小町)常林寺(三川町)長安寺(的場町)が三瀧に移転。
- 一画には原爆により無縁となった墓石群があり、園内には大石内蔵助(おおいしらのすけ)の次女の碑、三原城主・浅野家ゆかりの墓もある。



十丁石

丁石 三瀧寺旧参道

- 丁石とは街道・参道沿いに距離をしめすために建てられた標識。
- 一丁は約109.09m。三瀧寺旧参道には、五丁石・六丁石・八丁石・十丁石が残っている。



一番観音

一番観音 江戸時代の摩崖仏(まがいぶつ)

- 西国三十三観音にならって造立された33体の摩崖仏の一番目。
- 江戸時代初期に三瀧寺旧参道・境内の岩壁などに造立。西国一番の和歌山県青岸渡寺(せいかんとじ)の本尊と同じ如意輪(にょいりん)観音が彫られている。手前の盃状穴(はいじょうけつ)は、子孫繁栄・五穀豊穡を願うもの。現在は一番以外は境内にある。



誓願寺の門

誓願寺 被爆した「水盤石」「釣燈籠」

- 原爆投下当時、現在の平和公園にあった寺。
- 1590年、毛利輝元が材木町(現・中島町)の地に開基。本尊は「阿弥陀如来」で浄土宗の寺。
- 当時は3200余坪の境内を持ち、本堂・釈迦堂等と高さ13m、幅9mもある壮大な大門を有していた。国泰寺・本願寺広島別院とともに広島の「三大伽藍(がらん)」に数えられていたが、爆心地よりわずか400mのため原爆で跡形もなく焼失。
- 昭和38(1963)年5月、現在の地に本堂・書院・茶室「策伝庵(さくてんあん)」等が移転・再建。(700坪)
- 境内には岡山の誕生寺から移植した法然上人お手植えのイチョウ、昭和天皇お手植えの松、被爆した水盤石と釣燈籠、宗筒松4代目の弟松がある。
- 「広島新四国八十八ヶ所霊場14番」の札所。



阿弥陀如来像 ●室町時代初期



一番観音



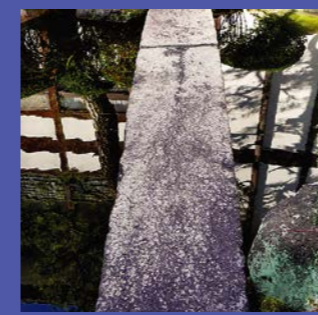
日涉園跡の眼鏡橋から



誓願寺の被爆した釣燈籠



誓願寺のイチョウ



誓願寺の庭の被爆石



みたきさくら広場の桜

企画: 三瀧歴史学習会 三篠公民館活動グループ
 発行: 西区役所地域起こし推進課
 733-8530
 広島市西区福島町2丁目2-1
 電話: 082-532-0927
 編集・制作: edit CUE 印刷: アドプレックス (第2刷 R4.3)
 ■ボランティアガイドの受付
 西区役所地域起こし推進課
 電話: 082-532-0927



親鸞聖人像跡

- 現在ニューヨーク本願寺仏教会にある、被爆「親鸞聖人像」が以前あった場所。
- 昭和12(1937)年、三重県桑名出身で鋳物業により財をなした広瀬精一が「聖ヶ丘(ひじりがおか)」に建立。彼は幼い我が子の供養のため、昭和40年までに日本・世界各地に「聖像百体」を実現した。
- 昭和20(1945)年、親鸞聖人像はこの地で被爆。
- 昭和30(1955)年9月11日、ニューヨークに移設。台座には親鸞聖人の童形像が置かれたが、今は寺町の広島別院に移され、台座のみ残っている。



台座



爆心地方面

広島市指定史跡 日涉園跡

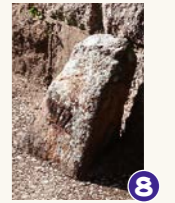
- 江戸時代に開かれた薬草園の庭園部分跡。庭園の形が残されたものは全国的にも珍しい。
- 寛政10(1798)年頃、藩命によって藩医・後藤松眠が開いた薬草園。中心に住居と庭園、その周囲に8800㎡の薬草地があった。明治4(1871)年に廃園。
- 子の松軒のとき、「蚕社の獄(ばんしゃのごく)」で脱獄逃亡した高野長英がここにかくまわれていた。
- 平成12(2000)年、後藤家より広島大学医学部に寄贈された。



池跡の太鼓橋



八丁石



五丁石



六丁石

JR 三瀧駅

- JR可部線の駅。ホームから太田川が見える。
- 昭和37(1962)年、太田川放水路建設の進展に伴い横川～安芸長束間の線路が放水路西側に付け替えられ、三瀧駅もここに移転。東側の、現在の三篠北町公園に旧三瀧駅(大芝公園入口停留場)の記念碑がある。



三瀧駅ホーム

みたきさくら橋

- 三瀧山から太田川(放水路)へ流れる三瀧川に斜めに架かっている、とても珍しい橋。
- 以前は誓願寺まで桜並木があったが道路拡張のため伐採された。さくら橋の名前はその名残り。



みたきさくら橋

歯痛地蔵 地蔵堂

- 三瀧に古くから伝わる地蔵を安置したお堂。
- 明治8(1875)年4月に建立。昭和30(1955)年頃、太田川放水路掘削工事に伴いここに遷座。地元では歯痛地蔵とも言う。そばの松の木の葉でついでお願いすると歯の痛みが治ると言われている。



地蔵堂と松